

パリ四十二度

温暖化はいつごろかうだろう

ここ二十年 三丁年の出来ごととは思われない

い ちつとすのとすつと以てかうだ

産業革命からでるんてううか

そのころは月毎つて変化がなつたので 暑が

かすかたてうだ

文明化がどんくすすみ それが目かうば

われていぬうだ

現在七月 子供ころのころの七月を思い出してみ

供

ろ びつさに耐して順調をしていぬうだろう

か ろうだ 部屋が甲斐なうだ

あまふはけがしす比ねか出たまう

廊下のカーテンがヒヒヒになる

風呂がうるさくなる 夜やすむ階がやまうら

かやしの外からの湯いりうら

庭はうち水かされる

おアケレの白い帽子をかぶり白中平巻で 汗う

テラと外を歩くと 暑いと思つていな

かつた いつもと身がめ日々だうだ

エ アコト上扇自様と 予加フた
すたれと通して流し下果る風だけだ

それでも竟方涼しかうた

食事も特例 夏向きでなかつた 果物は持込

ゆたうしいものけなく 赤いブル けんぞうだ

夏休み以外は普通の旬々だつた

気盛け二十三層 くらりだつた

その厚夏は9日付 もう果物は

二三の夏は べりが 四十二度と言つていた

ヨロロ 人は 涼しいはずだ

それだ 四十三度

地球時とくらべて 病がすすんでしやうだ

埼玉の気温 三十三度

2019
7/26